

## 小学生と一緒に水生生物調査を実施

～採集した水生生物の種類から河川の水質を判定～

国土交通省では、沿川の学校や各種団体の協力を得て、水生生物を指標とした水質調査を実施しています。

水生生物による河川の水質調査は、主に川底に生息している生物を採取し、生物の種類や数により、その地点の水質の状況を簡易的に調べるもので、参加者に身近な河川の水質状況、河川愛護の重要性等について理解を深めていただくことを目的としています。

### 1. 実施予定日

7月5日（月） 10:15～11:45 大石田町岩ヶ袋地内  
大石田町立大石田北小学校 6名 （すいか橋付近）※別添地図参照


※雨天の場合、7月14日（水）に延期になります。（時間・場所同じ）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、人との距離を確保しながら、マスクの着用等の感染防止対策を徹底して実施します。

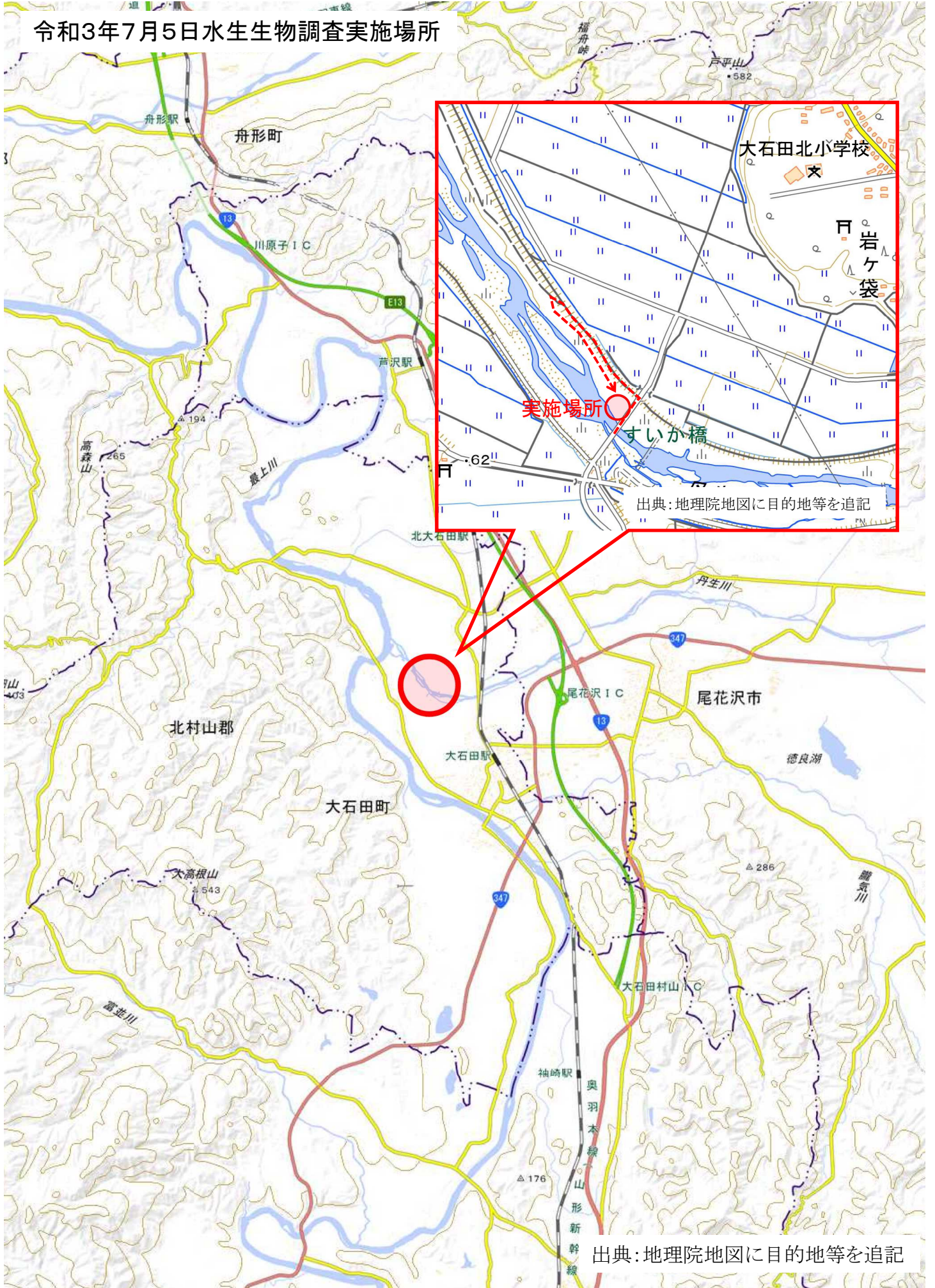
### 2. その他

- 天候不良や河川の状態等によっては、延期又は中止になる場合があります。
  - 取材にあたっては、マスクの着用等感染拡大防止対策をお願いします。
- なお、現地取材を希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

### 《発表記者会：新庄新聞放送記者会》

問い合わせ先	
 国土交通省	国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
	TEL 0233-22-0275
	技術副所長 <small>やまかげ</small> 山影 <small>しゅうじ</small> 修司 （内線204）
	管理課長 <small>いわた</small> 岩田 <small>たかゆき</small> 貴之 （内線331）
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所	
TEL 0237-35-2024	
出張所長 <small>みなざわ</small> 皆澤 <small>かずや</small> 和哉 （内線6221）	

令和3年7月5日水生生物調査実施場所



出典: 地理院地図に目的地等を追記

出典: 地理院地図に目的地等を追記

# 全国水生生物調査の概要

【参考1】

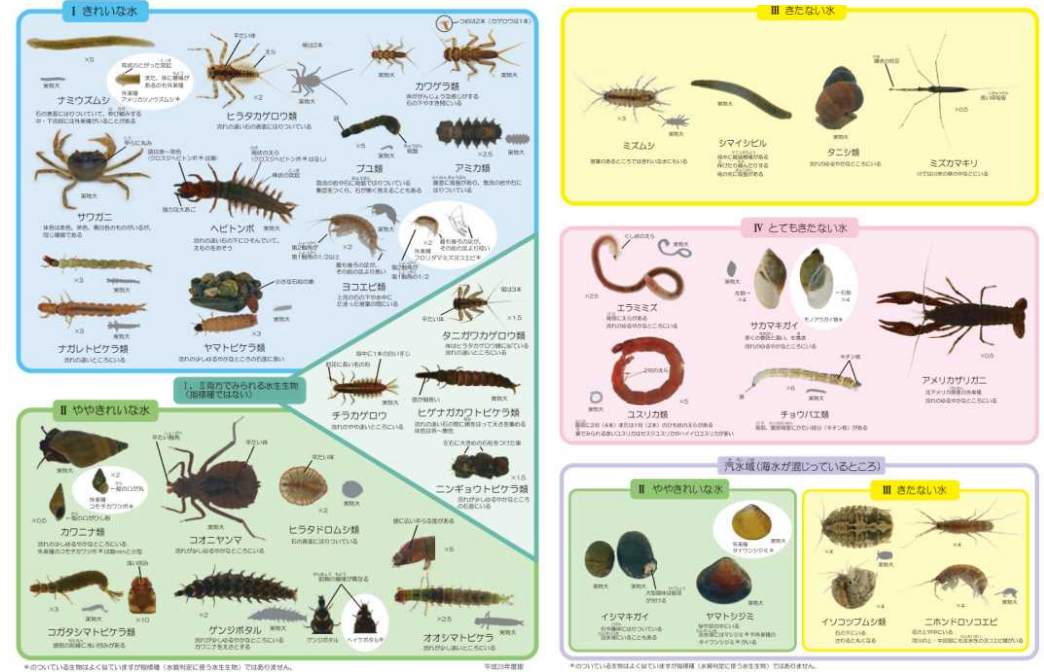
川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

## 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



## 水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アマカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコブツムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物